



# 大雨・台風シーズン到来

今年も梅雨や台風のシーズンがやって来ました。昨年は、鹿児島市では特に大きな災害のない一年でしたが、十一月末に九州南部に台風が接近するという異例の年でもありました。

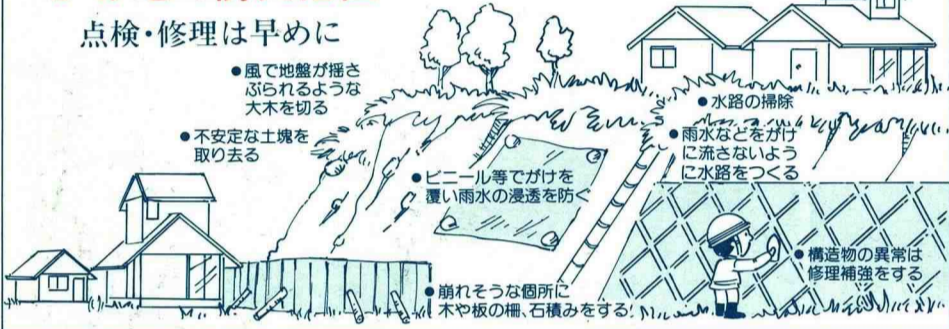
台風の常襲地帯にあり、その上シラスという特殊土壌に覆われ、土砂崩れなどによる災害が発生しやすい本市では、これまで度々たくさんの方の尊い人命や大切な財産が失われてきました。

災害による被害を最小限に食い止めるためには、日ごろから家庭や地域で効果的な防災活動を行うことが必要です。

そこで今回は、市民の皆さんが、正しい防災知識を身に付けていただけるよう防災に関する心得を特集しました。  
〔防災火山対策課〕

## 今年も身を引く季節です

### がけ地の防災措置



▽自分の家がどんな立地条件にあるかを知り、その対策を立てておきましょう。

▽家の内外の点検を行い、側溝

▽下水の流れに注意しておきましょう。

▽屋根や塀などの造作物は補強しておきましょう。

▽住宅付近の地形からみて、どのような災害が起きやすいかを知っておきましょう。

▽がけ崩れのおそれのあるところでは、水路などの流れを良くしておき、崩れやすい土地はピニールなどで地肌を覆い雨水の浸透を防ぐようにしておきましょう。

▽床上・床下浸水に備え、家の低い位置の物は高い所へ移し、家の周りの流れそうな物は片付けましょう。

▽台風が近づいてきたときは、停電に備え、懐中電灯やラジオ、ラジオ、非常食などの準備をしましょう。

### 自主防災組織をくりぬきましょう

万一、災害が発生した場合、一人ひとりがバラバラに行動しては被害が大きくなるばかりです。被害を最小限に食い止めるためには、日ごろから地域ぐるみの防災活動が大切です。

あなたの住んでいる地域を災害から守るため、自主防災組織をつくり、防災知識の普及や避難訓練などを行いましょ。

防災火山対策課では、自主防災組織をつくりたいと考えている町内会やすでに結成された自主防災組織を対象に、「防災研修会」も実施しておりますのでご利用ください。

また市では、自主防災組織育成のために、次のような助成を行っています。

- ① 自主防災組織結成時に、防災資機材購入のための費用を十万円を限度に補助します。
- ② 避難訓練などの防災訓練に際し、その訓練経費の一部として二万円を補助します。

※自主防災組織のつくり方や防災訓練の実施などについては、防災火山対策課②1111へお問い合わせください。

### ＜避難所は次のとおりです。近い所に避難しましょう。＞

- 緑丘中学校
- 西部第一団地集会所
- 川上小学校
- 吉野小学校
- 吉野東小学校
- 吉野中学校
- 特別養護老人ホーム
- 三船園
- 大明丘小学校
- 坂元小学校
- 鹿児島商業高校
- 玉龍高校
- 清水小学校
- 磯ビーチハウス
- 大龍小学校
- 長田中学校
- 中央公民館
- 草牟田小学校
- 城南小学校
- 松原小学校
- 鹿児島短期大学
- 原良小学校
- 明和小学校
- 西田小学校
- 武小中学校
- 荒田小学校
- 天保山中学校
- 八幡小学校
- 中郡小学校
- 南中学校
- 鴨池中学校
- 西紫原小学校
- 紫原中学校
- 宇宿小学校
- 田上小学校
- 田上団地公民館
- 武岡小学校
- 西陵中学校
- 西陵小学校
- 向陽小学校
- 広木小学校
- 伊敷小学校
- 伊敷中学校
- 玉江小学校
- 西伊敷小学校
- 西伊敷中学校
- 犬迫小学校
- 小山田小学校
- 皆与志小学校
- 花野小学校
- 市営日当平住宅
- 集会所
- (公営住宅集会所)
- いにしき幼稚園
- 小野市民館
- 東桜島小学校
- 改新小学校
- 黒神小学校
- 高免小学校
- 谷山北中学校
- 星峰西小学校
- 中山小学校
- 宮川小学校
- 東谷山小学校
- 清和小学校
- 桜丘西小学校
- 桜丘東小学校
- 谷山中学校
- 谷山小学校
- 鹿児島情報高校
- (旧電子工業高校)
- ラ・サール高校
- 和田小学校
- 和田中学校
- 鹿児島経済大学
- 錦江台小学校
- 坂之上福祉館
- 西谷山小学校
- 福平小学校
- 平川小学校

にぎやかな時のために  
家族防災会議を

ご自分の避難所を知ってますか？  
左の表で確認して裏面に書き込みましょう！

○ 避難場所への安全な順路は  
○ 家族が離ればなれになったときの連絡先や、最終的に落ち合う場所は  
○ 幼児や高齢者などの避難は  
○ 家族の連絡先メモの準備は  
○ 非常持ち出し袋の中身と置く場所は  
○ 隣り近所に病気で困っている人がいたときの声掛けや助け合いは  
○ 避難の時はだれが何をもち出すか  
○ 電気やガスなど、火気の確認は

### ご存じですか？ ～避難の呼びかけ

災害が発生した時や、発生するおそれがある場合、消防車による避難の呼びかけは次の方法で行います。耳を傾け、迅速な対応を心掛けましょう。

- **避難準備** 拡声器による呼びかけを行います。
- **避難勧告** サイレンを短く鳴らした後、拡声器による呼びかけを行い、これを繰り返します。
- **避難指示** サイレンを長く鳴らした後、拡声器による呼びかけを行い、これを繰り返します。

■ 問い合わせ 消防局警防課 ☎②5811

### ご利用ください…… がけ地近接等危険住宅移転事業

▷ がけ地の崩壊や土石流などのおそれがある危険な場所で、建築が制限されている区域にある住宅を安全な場所に移転する場合、移転者に、危険住宅の撤去や新たな住宅の建設・購入などに要する費用に対して、補助金が交付されますのでご利用ください。(一定の条件あり)

▷ 補助の対象と限度額は別表のとおり。

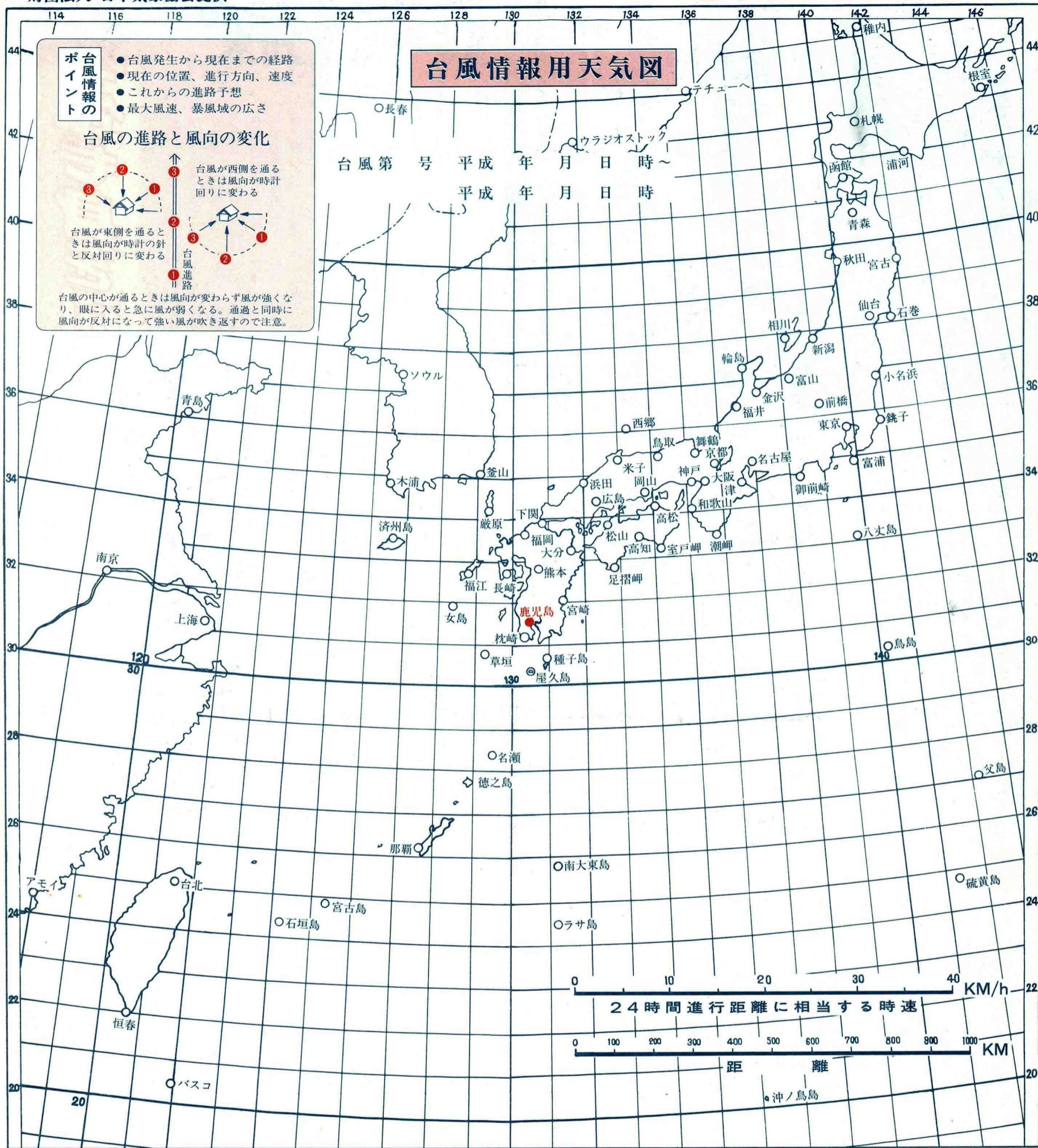
◆ 問い合わせ 建築指導課

対象	限度額
除却費など	66万円
建築費	256万円 (割増金49万円)
土地取得費	80万円 (割増金105万円)
造成費	20万円 (割増金25万円)



財団法人 日本気象協会提供

見やすいところにはってご利用ください



我が家の防災メモ

▶ 最寄りの避難場所

■ 非常持出品と分担

非常持出品	分担	保管場所
非常袋		
水筒 (飲料水、1人1日3ℓは必要。赤ちゃんのいる家族では、とくに多めに)		
緊急食料 (2~3日分。かん詰、インスタント、ラーメン、乾パン、粉ミルクなど。)		
携帯ラジオ		
懐中電灯 (夜間の避難に備えて)		
下着類 (下着1~2着、靴下、毛布、タオル、携帯用レインコートなど。)		
救急薬品 (消毒薬、傷ぐすり、胃腸薬、ほうたけい、脱脂綿など。)		
貴重品 (現金、預金通帳、印かん、有価証券など。)		

※大きな紙に書いて、見やすい所にはっておくと役に立ちます。

■ 家族の連絡先

なまえ	電話が通じる場合	電話が通じない場合

**避難のポイント**

- 避難場所までの安全な道順を確認し、素早い避難をしましょう。
- 服装は身軽で保温性のあるものにし、素足は危険ですので、底のしっかりした運動靴などを履きましょう。
- 持ち物は、必要最小限にしましょう。
- 避難時の単独行動は避けましょう。
- 危険な場所に近寄らないようにしましょう。
- 市・警察・消防や町内会などの責任者の誘導に従い、慌てず声をかけ合い、落ち着いて行動しましょう。
- 気象情報や災害情報など正確な情報をつかみましょう。